

医療従事者の皆様へ

舌下免疫療法について（Q&A）

愛媛県下での舌下免疫療法について

実際に患者様が舌下免疫療法を希望され、各医療機関を受診した際の対応としては以下の3パターンが考えられます。

- ① 自施設で導入、維持する。
- ② 自施設では行わない。
- ③ 自施設で導入はしないが、維持期の患者に対して維持量の処方を行う。

以下のQ&Aは各パターン別に回答をお示しします。

Q 舌下免疫療法を希望する患者様が自施設を受診したが、どうすればよいか

①の場合

A 自施設で導入ください

②, ③の場合

A 以下の医療機関（中予：愛媛大学医学部付属病院、県立中央病院、松山赤十字病院、鷹ノ子病院 南予：市立宇和島病院 東予：十全総合病院）で導入を行います。スギ花粉症の確定診断（特異的IgE抗体検査など）したうえで、紹介状を作成し各医療機関の担当曜日にご紹介ください。

* ③の場合、導入・増量が終了後、導入した病院から紹介元の各医療機関に逆紹介を行い、維持期の治療を継続していただきます。

Q 舌下免疫療法（シダトレン）の禁忌は？

A

禁忌：

1. シダトレンの投与によりショックを起こしたことのある患者

2. 重症の気管支喘息患者

3. 悪性腫瘍、または免疫系に影響を及ぼす全身性疾患（例えば自己免疫疾患、免疫複合体疾患、または免疫不全症等）

慎重投与：

以下の鳥居薬品のサイトの「使用上の注意」をご参照ください

<http://www.dlg-immunotherapy.jp/cedar/about/3/#taboo>

Q 導入予定病院での具体的な治療開始可能時期は？また曜日はいつか？

A

愛媛大学医学部付属病院：平成 26 年 10 月 16 日より開始 月曜・木曜 14 時 30 分～

県立中央病院：平成 26 年 10 月下旬頃開始予定 水曜日 14 時 30 分から

松山赤十字病院：平成 26 年 11 月以降開始予定 月曜日 16 時から

鷹ノ子病院：平成 26 年 月頃開始予定 火曜日午後

市立宇和島病院：平成 26 年 12 月頃 金曜日午後

十全総合病院：平成 26 年 11 月初旬 第 1、3、5 土曜日午前

の予定となっております。

Q 導入予定病院に紹介したいが、紹介前にスギに対する特異的 IgE 抗体が陽性であることを確認した方が良いか？

A スギ花粉が原因であることが適応条件のため、紹介前にスギに対する特異的 IgE 抗体が陽性であることを確認して、スギ花粉症の確定診断をおこなってください。

（導入予定病院での導入がスムーズに行えるためにも、ご協力ください）

Q 導入予定病院に紹介する際に、診察予約は必要か？

A FAX 予約をお願いします。

（舌下免疫療法の導入時には患者一人あたり 20~30 分程度の informed consent が必要となるため、事前に受診者数を把握できていた方が、診療がスムーズになるため、ご協力ください）

Qe ラーニング受講後、医療機関登録の際、緊急搬送先医療機関をどこにすればよいか

①の場合

A 自施設で緊急対応可能な場合は、自施設を記載ください。他施設に対応を依頼する場合は、最寄りの緊急対応のできる総合病院（この場合は必ずしも舌下免疫療法を導入する 6 病院には限りません）に、各施設から依頼していただき、**了解を得た上**で記載してください。

②、③の場合

A 導入のために紹介を行う予定の病院（愛媛大学医学部付属病院、県立中央病院、松山赤十字病院、鷹ノ子病院、市立宇和島病院、十全総合病院）を記載してください。

Q 患者携帯カードに記載する緊急搬送先はどこを記載すればよいか

①の場合

A 自施設で緊急対応可能な場合は、自施設を記載ください。他施設に対応を依頼する場合は、最寄りの緊急対応のできる総合病院（この場合は必ずしも舌下免疫療法を導入する 6 病院には限りません）に、各施設から依頼していただき、**了解を得た上**で記載してください。

②、③の場合

A 導入を行った病院（愛媛大学医学部付属病院、県立中央病院、松山赤十字病院、鷹ノ子病院、市立宇和島病院、十全総合病院）で記載します。

その他ご不明な点があれば愛媛大学耳鼻科医局までお問い合わせください。
お問い合わせいただいた内容に関しては、随時 Q&A でお答えしていく予定です。